

総合計画審議会委員からの意見と対応

No.	意見	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> ・四次総の反省に立って次に進むという部分があるほうが良い。 ・四次総と五次総の違いを端的に説明できるようにしたほうが良い。 ・WSで「分かりやすい表現を」と依頼したが、わかりにくく感じる。 ・説明の仕方、見せ方が大事である。 	<p>四次総の振り返りや時代背景などと併せて、現在の案に至る道筋を説明する資料を作成し、四次総と五次総の違いを含めて分かりやすく説明できるようにしたいと思います。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や若者の流出に歯止めをかけることが重要との意見がWSでもでており、計画策定の趣旨の部分に課題認識として記載すべきではないか 	<p>ご意見を受け、「少子化が進行しているほか、65歳以上人口が全国よりも15年早い2025年にはピークを迎える予測となっており、<u>これらの問題を喫緊の課題と捉えて、対策に取り組んでいかなければなりません。</u>」としました。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の活性化等に力を入れると説明があったが、基本構想の「めざす都市像」あたりを読むとどちらかというところから長崎市は文化等に力を入れていくと言っているように読める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所では前段の経済力の高さなどの価値を相対的に低くする意図はありませんでしたが、誤解のないように、後段を「その都市ならではの価値にも」としました。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の産業だけでなく、すべての産業について生産性を上げるということを記載してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上については、「仕事や家事などの生産性や効率性～経済的・時間的な豊かさが」の部分に表現させていただいております。
5	<ul style="list-style-type: none"> 「長崎に合った暮らしやすさ」が示している内容が抽象的でわからない。 	<p>例えば「坂のまち」であっても、創意工夫により暮らしやすくしていくといった意味合いでしたが、抽象的でわかりにくい、イメージしにくいといったご指摘についてはそのとおりと考えますので、「<u>みんながつながって、暮らしやすさをつくりつづけています</u>」としました。</p>
6	<p>まちづくりの方針などに「芸術文化」という言葉が入れられないだろうか。</p> <p>例えばGのまちづくり方針のところに「スポーツや芸術文化を楽しむ・・・」と入れるのはどうか。</p>	<p>芸術文化の振興にはより一層力を入れていく方針であり、めざす2030年の姿に言葉を入れさせていただいています。</p> <p>まちづくりの方針に言葉を入れられないか検討しましたが、他とのバランスを考え、基本施策の中に入れる方向で検討させていただきたいと思います。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> Hの「参画と協働」という言葉は使い古されている（インパクトが弱い）と感じる。それよりは、市民から信頼される市役所のほうが良い。HはA～Gを達成するための市役所の想いを入れたほうが良いのではないかと。 	<p>ご意見のとおり長崎のまちを良くしていくことについて、市役所が全力で取り組み、市民のみなさんから信頼される存在であることは重要であると考えますので、「確かな行政経営」という言葉を追加しました。</p> <p>一方で、Hでは「長崎のまちをみんなで作る」「自分たちのまちは自分たちでよくする」という想いを織り込みたいので「参画と協働」という言葉はそのまま残す整理をいたしました。</p>

総合計画審議会委員からの意見と対応

8	<p>2 めざす都市像とまちづくりの基本姿勢（P3）について</p> <p>「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」という都市像が、長崎市が進むべき方向性を示す北極星のようなものと例えられています。</p> <p>また、その後に「<u>いつかはたどり着ける性質のものではない</u>」と表現されています。</p> <p>最初 北極星をあげられたところは少し唐突には感じましたが、読み進めていくとその意味合いが「理想をもって前向きに進む長崎市の姿」がイメージできました。</p> <p>そこで、目指すは変わらぬ北極星の普遍性であって、「いつかはたどり着けるものではない」と言いきらず、常に理想をもって進むための目印としてはどうかと考えました。</p> <p>*北極星という言葉が使われたこと</p> <p>大航海時代、星を頼りに航海した船のように、嵐など多くの難関に立ち向かいながらも志をもって進むというイメージ。「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」に合うと思います。(鶴の港長崎市によく合うイメージ)</p>	<p>とても前向きで素晴らしいご提案と考えますので、当該箇所を次のように修正させていただきました。</p> <p>「世界都市」「人間都市」は、市民ニーズや社会の変化に応じ、より良い状態を求めて進化し続ける都市の姿であり、私たちが理想をもって進み続けるための目印であって、それをめざす道のりは常に道半ばにあります。</p>
9	<p>市民が一読して理解できる文言・表現を採用すべきである。(カタカナ横文字、短縮アルファベットなどに註釈を付す等)。</p>	<p>ご意見のとおりと考えますので、多くの目でチェックを入れるなどして、成案を得られるまで、継続して改善してまいります。</p>
10	<p>「長崎のまちは、かつて唯一世界に開かれ」との表現は歴史的にも歴史学的にも適切ではないと思います。検証をお願いします(江戸期鎖国後にも、対馬・薩摩・松前を通じて世界との人的・貿易交流は存在していました。特に、李氏朝鮮は対馬藩宗家を通じて幕府とも実質的な外交関係を有していました)。</p>	<p>ご指摘を受け、「長崎のまちは、江戸幕府による鎖国の中にあっても世界に開かれ」と修正しました。</p>
11	<p>「性的指向」は性的少数者 LGBT の方々に配慮した表現であるということは分かりますが、読む側からみると「性的嗜好」と混同されかねず、誤解を招きやすい文言だと思います。文言採用について再考をお願いします。</p>	<p>ご指摘を受け、例示を「性自認など」と置き換えました。</p>
12	<p>○第5次総合計画におけるまちづくりの方針(案)について</p> <p>ワークショップで出た意見ですが、皆さんの意見</p>	<p>当該資料については、ワークショップに参加できなかった委員の皆さまにも、「まちづくりの方針」の言葉をつくった経緯がイメージしやすいように配布い</p>

総合計画審議会委員からの意見と対応

	<p>が色々出たことが拝察されますが、同じ意味の文章が重なったり、言い換えられたりしています。</p> <p>この表をどう使われるか分かりませんが、市民に提供するなら少し内容を整理した方がわかりやすいと思いました。</p>	<p>たしました。</p> <p>広く市民の皆様へご覧いただく資料とは考えておりませんが、使用する際にはご指摘のとおり整理をさせていただきます。</p>
13	<p>まちづくりの方針B</p> <p>核兵器禁止条約の記載については、時点修正が必要になるであろうと思われ、また、その内容によって、長崎市のスタンスなども含めて記載内容の大きな変更が必要ではないか。</p>	<p>ご指摘のとおりです。</p> <p>10月24日に核兵器禁止条約の批准国が50カ国・地域に達し、来年1月22日には条約が発効されることが決定するなどの動きがあつておりますので、今後とも適切に時点修正してまいります。</p>
14	<p>【まちづくりの方針C】の長崎の持つ「強み」とは何か。</p>	<p>災害に強いことや優秀な人材の輩出などだと考えており、文言を追加しました。</p>
15	<p>生産性の向上には、ダイバーシティが重要となる。CやHには、SDGsの「5ジェンダー平等を実現しよう」を是非入れてほしい。</p> <p>加えて、教育は子どもの貧困を解決するための重要な手段と目されており、その目的は性別含め、社会的不平等の是正にあるので、まちづくり方針Gには、「5ジェンダー平等」とともに「1貧困を失くそう」と「10人や国の不平等をなくそう」もあわせて加えてほしい。</p> <p>そして、基本計画を作成する際には、各方針に掲げられているSDGsに沿って、基本施策ならびに成果指標を設定してはどうか。そうすることで四次総との差異化にもつながるのではないか。</p>	<p>ご意見のとおりと考えますので、項目を加えさせていただきます。</p>
16	<p>【まちづくりの方針G】(2)長崎市の現状の「◇生涯学習、スポーツ、芸術文化等においては、多くの市民が施設を利用し、利用度の満足度も高いほか、スポーツや芸術文化に触れる新たな機会が創出されるなど、経験や学びの機会は一定の充実が図られている。」と記載されていますが、長崎市公会堂が2015年に閉館し、その代替となる芸術文化ホール(市役所跡地)は2026年完成予定にずれ込み、こと芸術文化活動については機会の減少・停滞が指摘されているところです。長崎市の文化芸術の現状として相応しい表現とはとても言えないのではないか。</p>	<p>ご意見のとおりと考えますので、次のとおり文章を修正しました。</p> <p>「◇生涯学習、スポーツ、芸術文化等においては、多くの市民が施設を利用し、利用者の満足度も高いほか、経験や学びの機会は一定の充実が図られているが、競技スポーツやレクリエーションの場の整備が求められている。また、芸術文化においては、長崎市公会堂の廃止に伴い、市民が芸術文化活動を発表する場や鑑賞する場が不足している。」</p>

総合計画審議会委員からの意見と対応

17	市役所の女性管理職の数を増やすというようなことは書かないのか。	大事な視点だと思いますので、今後の計画策定において考え方を反映していきたいと思います。
18	まちづくりの方針 C に「新型コロナウイルス感染症と共生する社会を前提とした場合・・・」とあるが、これは認識が違うのではないか。新型コロナウイルス感染症によりさらに、すぐ取り組むべきとなったということではないか。	ご指摘を受け、「 <u>新型コロナウイルス感染症の流行を契機としてデジタル化など、市内企業の早急な対応強化が望まれている。</u> 」としました。
19	教育についてもオンラインが重要となってくる。いつまでにそのような環境を整えるのかとか記載すべきではないか。	令和 2 年度内には、小中学校に 1 人 1 台のパソコンを使える環境を整備するとともに、小中高校の Wi-Fi 環境も強化する予定にしております。
20	世代間のつながり、若い人を応援する機運が大事 高齢者の介護が家庭で行うこととなるなか、離職、再就職がない、離婚、ローンなどの課題が起こることが予想される。市民が一番心配になっていること。介護職員の人材確保も大事。	ご意見のとおりだと思いますので、今後の計画策定において考え方を反映していきたいと思います。